

# CAGLIERO<sup>11</sup>

カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.61 - 2014年1月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



## サ

レジオ会員の皆さん、  
サレジオ・ミッションの友人の皆さん！

新しい年、2014年のお祝いを心より申し上げます！ 1月はサレジオの月です。新しい学年度の準備に入る管区もあれば、この時期にサレジオ宣教の日SMDを祝う管区もあります。サレジオ宣教の日2014は、「ひとつの世界に生きる私たち」というテーマで、周りの移民・移住者の世界に向けて私たちの視野を広げ、心を開こうと呼びかけるものです。フランシスコ教皇がローマの外へ最初に出かけた預言的な司牧訪問(2013年7月8日、ランペドゥーサ島)は、私たちの直観を確認させてくれます。

SMD2014の7つのビデオは、移民の人々に心と扉を開いたスウェーデン、スペイン、イタリア、ドイツ、フランスの会員と信徒協働者の情熱を伝えています。

([http://www.sdb.org/it/Dicasteri/Missioni/GMS\\_2014](http://www.sdb.org/it/Dicasteri/Missioni/GMS_2014))

SMD2014の祈りがすでに会員の皆さんの手元に届いていることと思います。印刷された資料の冊子もさらに必要であればローマへご連絡ください。2014年に良い体験を分かち合うことによって、全サレジオ家族が移民のうちにイエスに出会う助けとなるでしょう！ 200周年の祝いを良く始めることができますように！

*Václav Clement*

宣教顧問  
ヴァツラフ・クレメンテ神父

## 私にとって宣教師であることは 深い喜びの源です！



**チェ** スク・ブドヨヴィチェでポスト・ノビスの勉強を終えると、私たちの中から一人、ブルガリアの宣教地へ実地課程に行ってもらいたいと管区長が言いました。私は特に心を惹かれませんでした。チェコで実地課程をしたいと願っていたからです。しかし、ブルガリアは緊急に助けを必要としていたので、私は管区長に、祈り、ブルガリアを訪ね、最終的に決める時間を下さいと願い出しました。この識別の間、ブルガリア東方典礼のクリスト・プロイコフ司教から、ヨハネ・パウロ二世の訪問(2002年)に合わせてブルガリアを訪れるよう招く手紙を直々に頂きました。とうとうブルガリア行きのバスに乗ったとき、この

招きを受けるよう神は望んでおられると私は心に感じました！

それ以来、私はブルガリアで働いています。困難はありますが、ブルガリアにとどまりたいと思っています。何年かたったころ、私たちはブルガリアのサレジオ・ミッションの方向性について識別を行いました。長い時間をかけて考察した後に、スタラ・ザゴラ市のジブシーの若者のために仕事を始めることが決まりました。再び管区長から呼びかけがありました。私はジブシーの若者のために働くことに乗り気ではなく、どのような犠牲が伴うかもわかりませんでした。この招きに反対する明確な理由もありませんでした。5年たった今、主がここにいることを望まれたということがわかります！ ジブシーの人々の中で働くことは、心理的、感情的、体力的に多くを要求されることです。残念ながら私は日々の生活のさまざまな問題の中で、しばしば途方に暮れています。親たちとの問題、アルコール依存、家庭内暴力、教育の欠如と外の世界に対する反社会的行動、などです。ジブシーの子どもたちは幼いころから生き延びるための闘い、心の傷、親の放任などに直面します。ジブシーの若者たちは、しばしば社会悪のために搾取されます。貧困から脱け出すいちばん手っ取り早い道を親がいつも選ぶからです。外からの助け

がなければ、解決策を見いだすのは困難です。彼らのうちに希望を呼び覚まし、共に歩む友人が必要なのです。

振り返って見ると、彼らのおかげで私はとても豊かになったと認めざるをえません。喜びあふれる精神、感情の豊かさ、友情、祭りは、私にとって大きな賜物です。ジブシーの人々の中で働いたおかげで、私はより忍耐強く、謙遜になり、深い霊的生活を持てるようになりました。ジブシーの人々と共に、信仰、道理、慈愛という3つの柱に基づくドン・ボスコの予防教育法のすばらしさを理解しました。

ジブシーの人々の中で働くとき、善意の人との一つひとつの出会いは深い喜びの源になります。そしてあちこちに友人を見いだしています！ 家庭や子ども、若者たちのうちに少しでも前進が見られると嬉しくなります。例えば、行動の仕方を変える決心、どんな代償を払ってでも善いことを忍耐強く続けること、ほかの人もそうするように助けようと努力することなどです。私にとって、このような小さな成功は大きな価値があり、主への感謝でいっぱいになります！

チェコ出身、ブルガリアの宣教師 ヤロスラフ・フォグル神父



## 新 宣 教 師 を 求 む …

管区 -国	必要な言語	環境・必要とされる資質
<b>アジア</b>		
CIN - 中国宣教奉仕事業	英語、 中国語-広東語	管区を助ける若い会員(マカオ、香港、台湾)、 しっかりしたサレジオ会員召命、修道士
INC -ネパール	英語、ネパール語	新しい宣教地(2000年に宣教師要請)、社会・教育事業
LKC -スリランカ	英語、シンハリ語、タミール語	内戦の影響、南アジア以外からの宣教師が必要、修道士
SLK -使徒座知牧区 アゼルバイジャン	ロシア語、英語 アゼル語	地元民・移民のカトリック信徒600人、穏健なイスラム、 共同体の国際化のため(スロバキア人以外の会員)
<b>中東</b>		
MOR -エジプト、レバノン	イタリア語、アラビア語、英語	キリスト教・イスラム教の子どもたちの学校、 オラトリオ-ユースセンター、若い会員を求む
MOR -トルコ	イタリア語、トルコ語	国内に1つだけの共同体、学校、移民のための事業
<b>オセアニア</b>		
AUL - オーストラリア サモア、フィジー(太平洋)	英語 地元の言語	オーストラリア:世俗化・多文化社会、 サレジオ会員は少ない、教育事業(学校、ユースセンター) サモア、フィジー:太平洋のための養成担当者

### ストレンナ2014

私たち固有の召命に従い、  
聖性の道を歩めるよう  
ドン・ボスコの霊的体験から汲み取ろう  
神の栄光と人々の救いのため



## サレジオ会の宣教の意向

### 各管区の2014年サレジオ宣教の日のため

世界中のサレジオ会員が、2014年サレジオ宣教の日によって、  
移民の兄弟姉妹が私たちの事業の周囲あるいは事業の中、どこにいても、  
この兄弟姉妹への使命の意識を高めよう。

ヨーロッパでの私たちの体験は、ただ助けを必要とする人々として移民を見るのではなく、私たちのカリスマに新たなのちをもたらす源(召命、献身的な信徒協働者)としても見るよう、私たちが招きます。世界中に故国を離れなければならなかった2億2千万人の移民、さらに、8億人の各国内の移住者がいます。移民は、私たちの時代の最も重大な社会文化的現象の一つなのです。SMD2014のテーマ「ひとつの世界に生きる私たち」は、どこに暮らしていても、心を開くようにと私たちに促します。7か国語での7つの短いビデオやそのほかの資料は、私たちの歩みの助けとなるでしょう。

